

CASBEE-建築(新築)2016年版
日本ピラー工業株式会社福知山第2工場

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
Q1 建築物の環境品質								3.7	
Q1-1 室内環境								3.8	
1 音環境								3.3	
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 湿熱環境								3.6	
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ソーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境								3.8	
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境								4.4	
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能								3.8	
1 機能性								4.1	
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性								3.2	
2.1 耐震・免震・制震・制振									
1 耐震性(建物のこわれにくさ)									
2 免震・制震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
1 躯体材料の耐用年数									
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
4 空調換気ダクトの更新必要間隔									
5 空調・給排水配管の更新必要間隔									
6 主要設備機器の更新必要間隔									
2.4 信頼性									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

3	対応性・更新性		4.1	0.30	-	-	4.1
	3.1 空間のゆとり		4.4	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	平均階高3.87m	4.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	-0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		4.8	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	クリーンルームのダクト用の設備階を計画した。	5.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	ピットを計画したため、構造部材、仕上げ材を痛めごとく更新可能	5.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	壁内等は全て配管施工	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	壁内等は全て配管施工	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	設備機器は、外壁付近から設備置場へと容易に搬入できる計画と	5.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	工場を稼働状態のまま設備の更新が可能	4.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)			0.40			3.5
1	生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	まちなみ調和に配慮した景観計画	4.0	0.40	-	-	4.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	従来にはない開放的で快適なクリーンルーム執務環境	4.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						4.1
LR1	エネルギー			0.40			4.7
1	建築物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.69	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	照明設備の代わりに、太陽光を利用した自然採光システムを計画	5.0	0.10	-	-	5.0
3	設備システムの高効率化	BEIm=0.24	5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用		3.5	0.20	-	-	3.5
	集合住宅以外の評価		3.5	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	責任者を選定し、運用	4.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル			0.30			3.7
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	洗面器や便器は節水型器具を採用し、水資源の節約に貢献する。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	-	3.8
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	内部床:ビニル床材・タイルカーペット	5.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	再利用可能なOAフロア・可動間仕切りを採用	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20	-	-	3.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	ビニル床タイル・シート用接着材、壁紙用接着剤、塗床材、躯体	5.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境			0.30			3.8
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2の排出率を低減	4.5	0.33	-	-	4.5
2	地域環境への配慮		4.1	0.33	-	-	4.1
	2.1 大気汚染防止	地球環境に配慮し、ガス熱源を一切採用していない。	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	卓越風に対して角度を振る等の温熱環境への対策の実施	4.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	裸地・緑地を積極的に確保し、雨水流出抑制対策を実施	4.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	余裕を持った駐車スペース・車道幅員を確保	5.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.50	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.50	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版 日本ビラー工業株式会社福知山第2工場

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	3.0	2.0	○	○		○	-	○	-	○	-	○			
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1.3.2 維持管理用機能の確保	10.0		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.4.1 空調・換気設備	2.0		-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0		2.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	4.0		-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	11.0		2.0	3.0	-	1.0	1.0	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0		-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	3.0		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	6.0		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	13.0		1.0	1.0	2.0	3.0	2.0	-	-	3.0	-	1.0	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 昼光照明及び室内照明のうちに漏れる光への対策	2.0		1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標		指標値															
Q1 室内環境		窓システムSC 0.5 窓の日射熱取得率(η) -															
2.1.3 外皮性能		U値(W/m2K) 窓システム 1.6 屋根 2.0 外壁 0.3 床 2.0															
		住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -															
3.1.1 昼光率		昼光率 9.0%															
4.2.2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率 3.3%															
Q2 サービス性能		執務スペース 6.0㎡/人 病床 8.0㎡/床 シングル 15.0㎡ ツイン 22.0㎡															
1.1.1 広さ・収納性		コンセント容量 30.0 VA/㎡															
1.1.2 高度情報通信設備対応		天井高 2.5 m															
1.2.1 広さ感・景観		リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%															
1.2.2 リフレッシュスペース		想定耐用年数 30 年															
2.2.1 躯体材料の耐用年数		想定必要間隔 20 年															
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		想定必要間隔 20 年															
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		想定必要間隔 0 年															
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		階高 3.87 m															
3.1.1 階高のゆとり		壁長さ比率 30.0%															
3.1.2 空間の形状・自由さ		床荷重 3000 N/m2															
3.2 荷重のゆとり		外構緑化指数 11% 建物緑化指数 0%															
Q3 室外環境(敷地内)		空地率 85% 水平投影面積率 1% 地表面対策面積率 10% 舗装面積率 21%															
1 生物資源の保全と創出		BPI/BPIm 0.69 断熱等性能等級 等級2 相当															
3.2 敷地内温熱環境の向上		自然エネルギー直接利用量 15 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 80.0% 採光を満たす住戸数 80.0%															
LR1 エネルギー		通風を満たす教室数 80.0% 通風を満たす住戸数 80.0%															
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI/BPIm 非住宅 0.24 住宅 - 太陽光 0kW 太陽熱等 0kW 蓄電池 0kW															
2 自然エネルギー利用		雨水利用率 0.0%															
3 設備システムの高効率化		特定調達品目 ビニル床材 エコマーク商品 ビニル床材、タイ/岩地体特定の特定品目等 -															
LR2 資源・マテリアル		使用比率 5.0%															
1.2.1 雨水利用システム導入の有無		オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)															
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1430															
2.5 持続可能な森林から産出された木材		オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)															
3.2.1 消火剤		見付面積比 45% 隣接間隔指標Rw -															
3.2.2 発泡剤(断熱材等)		地表面対策面積率 50.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0%															
3.2.3 冷媒		見付面積Sb 2.50㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 370.3 m 基準高さHb 15.5 m															
LR3 敷地外環境		緑地 7.148㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 28,374㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡															
2.2 温熱環境悪化の改善																	